

# TEISO TOYOKA NEWS

2015年4月号 VOL.75

企画・発行：(株)テイソートヨカ 四日市技術研究所  
掲載している記事の無断使用を禁じます。〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 [info@teisotoyoka.com](mailto:info@teisotoyoka.com)

## 春になったらマダニにご用心！！

ようやく春が訪れ、気温も暖かくなり過ごしやすくなって参りました。しかしこれは、私たち人間に害を及ぼす虫たちにとっても過ごしやすくなってきたことを意味します。そこで今回は、この季節に注意すべき虫の中で「マダニ」とその予防法をご紹介します。

マダニは体長 3~4 mm程度の比較的大きなダニの仲間です(写真1)。屋内に生息する種類のダニであるコナヒョウヒダニやヤケヒョウヒダニは、その虫体や死骸・脱皮殻・糞などがアレルギーの原因となり私たちを困らせます。一方このマダニは吸血をすることで私たちに害を及ぼします。またウイルスや細菌などを保有したマダニに吸血された場合、様々な感染症を引き起こす可能性があります。



写真1. マダニの1種

最近では、海外の人気アーティストであるアヴリル・ラヴィーンさんがその感染症の一つであるライム病にかかり、5 か月間寝たきり状態になったということで話題になりました。他に、発熱とともに多数の赤い発疹が手足・手掌・顔面に広がる日本紅斑熱や、2011年と比較的最近特定された重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などがあります。SFTSは意識障害やけいれんなどが起こり、ひどい場合は死亡してしまう恐ろしい感染症です。

そんな恐ろしい感染症を媒介するマダニは、主に草むらや藪などに生息しています。予防法は、いたってシンプルですが、まず吸血されないことが最も重要です。屋外の草むらや藪が多い場所で活動する時は、長袖長ズボン長靴などを着用し肌の露出を少なくすることを心がけてください。また虫よけに「ディート」という成分を含んだジェルタイプまたはスプレータイプの薬剤を肌に塗るか吹きかけることも有効な手段です。

ただし、そういった予防法を実践したとしても吸血されてしまう場合もあります。もし吸血中のマダニを発見した場合は、無理やり皮膚から引き抜こうとしないで下さい。マダニは吸血中口器を皮膚に強力に食い込ませているため、仮に取れたとしても実際にはマダニの体の一部が皮膚に残ってしまい、より感染リスクを高めてしまう恐れがあるからです。マダニに吸血された場合は、速やかに病院(皮膚科)で適切に処置してもらいましょう。(I.R.)



## 今月のオススメ① USA発！屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット



春は屋外を散歩したり、窓を開けてひなたぼっこをしたくなる季節です。屋外で過ごす時間が長くなり、肌を露出する機会も多くなるでしょう。でも、気になるのはブーンと耳元に忍び寄るうるさい蚊ではありませんか？蚊は種によっては、成虫が年中あるいは春から発生するものもあります。また、最近日本でも話題になっていますが、ウエストナイルウイルス・デングウイルス・日本脳炎などの感染症は、蚊が媒介して感染します。そこで蚊の発生がこれから本格的になる今年の予防対策商品として、蚊を磁石のように引き寄せて吸い取る装置をご紹介します。

### 屋外専用蚊取り装置 モスキートマグネット

「蚊取線香では範囲がせまいし、臭いや煙も気になる。子供やペットもいるから薬剤は・・・」と困っている方は大勢おられると思います。

アメリカで生まれたこのモスキートマグネットは、効果が半径約35mという広範囲にわたり、10kgのプロパンガスタンクで24時間連続稼働しても3週間持続します(※プロパンガスと誘引剤であるオクテノールは消耗品ですので交換が必要です)。殺虫剤を使用せず、誘引剤と二酸化炭素で蚊を寄せつけ、ファンで吸い込むことで蚊を退治します。小さいお子様やペットが近くにいても安心です。

屋外専用ですが、煙も出ず、本体に耳を近づけなければファンの回転音が聞こえないほどの静音でご近所への迷惑にもなりません。また、防雨・防風設計ですので、台風などの極端な天候でない限りご使用できます。

業務用で少しスペースをとってしまいますが、蚊に悩まされない快適な毎日をご過ごせるはずです！

★★モスキートマグネットに関するお問い合わせはテイソートヨカ(TEL: 052-891-8311)まで！★★



## 自然の復元力 Vol. 56

今年も春がやってきました。今年の桜は予想と違い花が散るのが遅く、比較的長く楽しめましたが、皆様も楽しめたでしょうか？さて、今月の自然の復元力は、前号に続き「 Deng 熱媒介蚊について」をもう少し続けさせていただきます。

### (3) Deng 熱媒介蚊の発生源はどこか？

ヒトスジシマカの卵は、乾燥に耐える特性を持っていると先月号で書きました。この特性が彼らの生き残り作戦において非常に重要な役割を担っていることも、先月号で述べました。特に申し上げたいことは、竹藪や植物が繁茂している中にヒトスジシマカの発生源を発見するのは専門家でなければ不可能に等しいことです。したがって、このような場所では発生源対策より成虫対策が主になると思われます。

媒介蚊対策の基本は、発生源対策です。私たちの周辺にヒトスジシマカが発生する場所は種々存在します。例えば、植木鉢の受け皿、庭先に放置されたジョウロや缶・ビン等によく発生します。これらは定期的に水を無くすことで発生を抑制できます。また、住居や道路わきに取り付けられた雨水枡、ブロック塀なども蚊発生源として注目される所です。雨水枡の発生源対策は定期的な清掃や必要に応じての薬剤の投入が望まれ、ブロック塀に関しては、降雨等で水が溜まる個所があれば水が溜まらないようにセメントなどで塞ぐことが対策となります。発生源が何処にあるか、その調査が十分に実施されているかが対策を講じる際に非常に重要です。道路わきに設置された雨水枡や公園などの公共施設内を除くと、ヒトスジシマカの発生源の大半は個人住宅の敷地内に存在しています。よって、ヒトスジシマカ発生源対策は住民参加が不可欠になります。住民に対して、蚊発生源調査を徹底するよう啓発しなくてはなりません。

都市部の市街地でヒトスジシマカを採集する方法の一つにオビトラップ法という方法があります。著者はかつてこの方法でヒトスジシマカの生息調査を行ったことがあります。500ml のプラスチック容器に水を 200~300ml と調査地の落ち葉数枚を共に入れ、布の切れ端を水に浸し、壁面に垂らします。1~2 週間程度放置すると、ヒトスジシマカの発生場所では幼虫が発生するのが分かるという方法です。勿論、容器は蓋なしで用います。容器に投入した落ち葉はボウフラの餌用です。落ち葉にはいろいろなカビが生えます。葉を水中に入れることにより、カビは水中で様々な微生物を増殖させます。これらのカビなどの微生物がボウフラの餌になるのです。したがって、落ち葉を入れると有意に幼虫発生率が上がるので、ボウフラの発生する水系は、餌となる微生物が豊富な方が好ましいと推察されます。また、産卵用に垂らした布の色は暗めの方が産卵に適しています。

数年前愛知県の公共雨水枡調査を実施した時、採集種はアカイエカ群、ヒトスジシマカ、トラフカクイカ、コガタアカイエカの4種でした。その時の感想ですが、雨水枡の水が汚濁して有機質が多いところにアカイエカ群が、水が澄み周囲に緑が多いところにヒトスジシマカが優占種となっているようでした。(有機質の多いところにヒトスジシマカ、清澄な水にアカイエカはそれぞれ好まないようでした。)他2種のトラフカクイカとコガタアカイエカは稀な発生でした。(つづく) (Sin)



### 今月のオススメ② 異物混入・不快害虫・飛来昆虫対策の強い味方！ ウルトラペープ PRO1.8

今回ご紹介するのは、不快害虫・飛来昆虫対策に有効な電池式の業務用不快害虫駆除器「ウルトラペープ PRO1.8」です(以下ウルトラペープ)。このウルトラペープは、従来の業務用不快害虫駆除器とは異なり、配線不要な電池式であるので、様々な場所に設置することが可能です。

ウルトラペープの有効成分はピレスロイド系のメフルトリンで、熱や火を使わないので臭いや煙が出ず、安心してお使いいただけます。電池をセットすれば1500時間(約2か月間)もの連続使用が可能です。また、15時間ON/9時間OFFで運転する「タイマー付き」の機能があり、この場合だと約3か月間使用可能となります。さらに、器具外装は風雨に強く、強度が高いうえ、光沢や高級感のある仕上がりでお店のイメージを損ないません。お店や工場で害虫にお困りの方は、是非一度ご検討されてはいかがでしょうか。



★★ウルトラペープ PRO1.8 に関するお問い合わせはテイソートヨカ(TEL: 052-891-8311)まで！★★



Eco Friendly Pest Management

自然にやさしい総合的有害生物管理

株式会社テイソートヨカ

IPM・コンサルティング・異物同定分析

有害生物(ネズミ、ゴキブリ等)管理・ノラバト飛来防止施工

〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 [info@teisotoyoka.com](mailto:info@teisotoyoka.com)

本社・名古屋東営業所	〒468-0045	名古屋市天白区野並 2 丁目 334 番地の 2	TEL 052-891-8311	FAX 052-891-8440
名古屋西営業所	〒453-0818	名古屋市中村区千成通 4 丁目 18 番地	TEL 052-482-6591	FAX 052-482-8778
岐阜営業所	〒501-6264	岐阜県羽島市小籠町島 4 丁目 61 番	TEL 058-392-6454	FAX 058-392-6407
三重営業所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-345-3571	FAX 059-345-3572
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町夕 47 番地 1	TEL 076-266-6474	FAX 076-267-6480
富山営業所	〒939-8261	富山県富山市萩原 42 番地 1	TEL 076-481-6474	FAX 076-481-6471
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中 2 丁目 1 番 7 号	TEL 025-283-6474	FAX 025-283-6497
四日市技術研究所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-325-6431	FAX 059-325-6430